

三、動物園の歩み

(1) 主な出来事

動物園の歩みを振り返るのに、まずは、動物園が開園して以来の出来事を、トピックス風に年次順に記載してみます。

- | | | | |
|-------|--|-------|---|
| 一九七一年 | 三月二十四日フェニックス自然動物園オープン
第一回幼児及び児童動物画コンクール実施
定期刊行物「あしおと」発行
八月夜間営業（四日間） | 一九七八年 | マサイキリンに第一号の二世誕生
ハナジカにシロジカ誕生
オランウータンの雌（ハナコ）がブリーディング・ローンで日本モンキーセンターに嫁入り
レア来園（ホノルル動物園の親善大使として）
オキナワオオコウモリとチャイン来園 |
| 一九七二年 | 第一回動物園サマースクール開催
猛獣舎（ライオン、トラ、ヒョウ）、及びクモザルの鳥完成
グラントシマウマ第一号誕生 | 一九七九年 | 第一回「出水のツルに落ち穂プレゼント運動」開催
第一回中学生サマースクール開催
トラの人工哺育に成功
インドトキコウ繁殖（国内初繁殖賞受賞）
ローランドゴリラ二頭来園 |
| 一九七三年 | 博物館相当施設として文部省より指定を受ける。
ミゼットポニー繁殖賞を受賞（日動水協）
昭和天皇、皇后両陛下御来園 | 一九八〇年 | インドゾウの赤ちゃん（バク四世）来園
開園十周年記念（動物バレード、一日動物園園長他）
ベニイロフラミンゴ来園 |
| 一九七四年 | ダチヨウの繁殖（国内初）
第一回年賀状版画コンクール開催 | 一九八一年 | アフリカ園観察広場完成
ベニイロフラミンゴ来園 |
| 一九七五年 | 動物園飼育部門が宮崎日日新聞社賞を受賞
第一回移動動物園教室開催（椎葉村仲塔小学校及び財木分校）
インドトキコウ自由飛翔実験成功
常陸宮ご夫妻御来園 | 一九八二年 | アカクビワラビー来園
マサイキリンに初の三世誕生
春休みの催事「ひよこの誕生」「牛乳とミルク」「子ゾウと綱引き」実施 |
| 一九七六年 | アカウミガメが宮崎市の天然記念物に指定
ダチヨウの繁殖で繁殖賞および技術賞を受賞（日動水協）
特別展「人と類人猿」展開催
フラミンゴ村完成（繁殖施設） | 一九八三年 | 樹木保護「ミノムシ百匹」無料入園
アカクビワラビー（無毛個体）の人工哺育に成功
アミメニシキヘビが三百十二日断食の後採食
フラミンゴが当園初の繁殖 |
| | | 一九八四年 | 催事館オープン「サルの世界展」開催
シフゾウ特別展示 |
| | | 一九八五年 | 春の動物科学展「小川にすむ生き物たち」展開催
チンパンジー二頭とボールニシキヘビ来園 |

- チンパンジー(リス)節分で豆まき披露
 キリンの初代ボス「タンザ」死去
 ハチドリ仲間入り
 動物科学教室「おもしろ水族館」開催
 フラミンゴ繁殖用フライングケージ完成
 第三十四回全国動物園技術者研究会を当園で開催
 ワライカワセミ仲間入り
 チンパンジーに初の二世が誕生(ゲンキと命名)
 フラミンゴ続々繁殖
 オランウータンの雌(モモコ)来園(ハナコの子
 供・ブリーディング・ローンで繁殖した個体)
 アカハナグマ、エゾリス来園
 カナダのアシニボイン動物園との飼育キーパー交換
 研修実施
 ラクダ、カンガルー、カピバラ、ハナジカ展示場完成
 パルマワラビー来園
 ライオンの保母さん公募(ライオンの人工哺育)
 オランウータンのモモコ、鍵開けで一躍全国的ス
 ターに
 オニオオハシ来園
 開園二十周年記念(ちびっこ動物パレード、「動物
 園二十年の歩みと動物たち展」ピグミーマーモセツ
 ト、カカバ、来園他)
 オランウータンのモモコ記念写真撮影に挑戦
 キリンの当園通算五十頭目を出産
 オランウータン雌(モモコ)天王寺動物園へ嫁入り
 (ブリーディング・ローンにて)、変わりに雌(サク
 ラ)横浜野毛山動物園より来園
 チンパンジーの出産ラッシュ五頭(一九九一年及び
 一九九二年)
- 一九九三年
 チンパンジーの保母さん公募(人工哺育)
 タンチョウ二羽来園
 上野動物園でのゴリラ繁殖計画に協力して、当園の
 雄のローランドゴリラ(ドラム)を上野動物園に婚
 入りさす。(ブリーディング・ローンにて)
 第一回動物脱走時対応訓練実施
 オランウータンのサクラ、じゃんけんで話題となる
 シロフクロウ来園
 レッサーパーンダ来園(ブリーディング・ローンにて)
 アメリカからフタコブラクダ雄一頭来園
 オランウータンのサクラを主役とした動物劇場開園
 コウモリ館完成(エジプトルーセットオオコウモリ
 来園)
 エミュー来園
 開園二十五周年記念(チンパンジーの四半的、「ア
 カウミガメならびに宮崎の野生動物と動物園」展他)
 アルダブラゾウガメ、トナカイ、キョン来園
 「童話の国の動物たち展」開催
 オランウータン雄(ハッピー)来園(ブリーディン
 グ・ローンにて)
 オランウータンのサクラが、ショーを引退し繁殖に
 努める。
 サミットを記念して、サミット参加国のハト来園
 タンチョウ来園
 モノレール登場(グリーン博特別出展後)
 宮崎県内で保護したクマタカに展示場完成
 文部科学省委託のテレビ会議を利用した「ネット
 ワーク教室」開催
- 一九九四年
 一九九五年
 一九九六年
 一九九七年
 一九九八年
 一九九九年
 二〇〇〇年

二〇〇一年

三十周年記念(ナマケモノ他来園、「珍しい動物ナマケモノと南米の動物たち展」開催他)
ユーラシアカワウソ来園(ブリーディング・ローンにて)

八月三十一日、フェニックス自然動物園閉園

九月八日、宮崎市フェニックス自然動物園開園

十一月「第一回市民感謝デー」開催

二〇〇二年

リスザル、ペンギン展示場オープン

アメリカバイソン、オオタカ、コシジロヤマドリ、ミリアキヤット、グラントシマウマの若い群れ(三頭)が仲間入り

市動物園ホームページ開設

こども動物村に「展示館」およびカメラランドがオープン

年間パスポート、未就学児入園無料、市内小学校中学校等の入園料減免制度、遊園地の低額乗り放題を実施

二〇〇三年

動物園ボランティア立ち上げ

レッサーパンダ雌(フランツ)ブリーディング・ローンで仲間入り

ゾウ舎完成(ゾウ舎見学会を実施)

鳥の科学展開催

二〇〇四年

愛称を「たいよう」と「みどり」に命名

マサイキリンの若い雄同士を、鹿児島動物園と交換

アジアゾウがその素晴らしい能力を披露

「ゾウの誕生会」「ゾウのお絵かき」「ゾウの書初め」「ゾウと綱引き」

二〇〇五年

「へび展」開催

二〇〇六年

それにしても、多くの催事を行ってきたものです。さらに、主な繁殖動物、導入動物、そして、施設についても年次を追って説明いたします。

(2)主な繁殖動物

一九七一年 フタコブラクダ1、キョン3、トムソングゼル1、

バーバリーシープ2、インドクジャク3、シンジュホ

口ホロチヨウ多数

一九七二年 グラントシマウマ5、ミゼットポニー2、ロバ1、フ

タコブラクダ2、キョン3、アジアスイギュウ2、ト

ムソングゼル1、バーバリーシープ2、他鳥類多数

ヒヨウ2、グラントシマウマ2、ミゼットポニー2、

キョン2、エランド1、アジアスイギュウ2、オグロ

ヌー3、バーバリーシープ1、フタコブラクダ1、他

鳥類

一九七四年 グラントシマウマ5、バーバリーシープ2、ハナジカ

10、ロバ1、ミゼットポニー1、フタコブラクダ1、

ライオン3、エランド1、アジアスイギュウ3、オグ

ロヌー1、ダチヨウ5、他鳥類

一九七五年 ジェフロイクモザル1、シヨウロバ1、ハナジカ、ダ

マシカ、アジアスイギュウ2、グラントシマウマ3、

ダチヨウ5、他鳥類

一九七六年 グラントシマウマ4、バーバリーシープ1、ミゼット

ポニー1、エランド1、オグロヌー1、ハナジカ、フ

タコブラクダ1、ライオン3、ダチヨウ2

一九七七年 ジェフロイクモザル2、グラントシマウマ3、ハナジ

カ、マサイキリン2、オグロヌー3、ミニナガヤギ

1、インドオオツル1、エランド、ライオン

一九七八年 オグロヌー3、ミゼットポニー2、ハナジカ、ライオ